

第4回 最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会
議事概要

日時： 平成29年11月22日（水）13時15分～15時00分
場所： ヒルズサンピア山形 蔵王(2F)
委員出席： 20市町のうち20市町出席（首長は5市町出席）
報道機関： 新聞社（山形新聞）
議事： 「最上川上流域の減災に係る取組み方針【変更】（県管理河川への取組事項について）、各機関における取組状況」についての共有に加え、今後の取組みについて情報共有した。

以下、主な発言内容

- ・ 水害対策のためにできる事から取り組んだ。
 - ・ 地元住民との調整を行った上で基準水位を設定した。
 - ・ 地区内の危険箇所、避難経路等を確認し、防災福祉マップの作成と地区全戸への配布を行った結果、防災に対する意識が高まった。
 - ・ 簡易水位計が地域の安全、安心を高める役割を発揮することを期待する。
-
- ・ 防災拠点川前の高水敷を整備して、沿川自治体の平常時の防災拠点として、水防訓練やドローンの飛行訓練などに対応できるようにしたい。
 - ・ 災害の発生前にきちんと整備することが最大の危機管理である。
-
- ・ 最上川防災フェアへの子供達の参加は大変有り難かった。参加した子供たちの防災に対する意識が向上した。
 - ・ 市では、市内の他の小学校でも防災教育を息長く実施する予定である。このような活動を継続して実施することが将来の減災につながる。